



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711
2021年7月21日

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第84回おきぎん企業動向調査」 (2021年4-6月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：野原

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

第 84 おきぎん企業動向調査(2021 年 4-6 月期)調査結果

～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感～

I. 調査概要

- 本調査では各企業の業況感や経営状況項目などについて、企業経営者の主な判断(当期実績、来期見通し)を景気動向指数 DI として取りまとめる四半期調査です。

【調査時期】2021 年 6 月初旬～7 月初旬 (6/7～7/2) **※7/8:緊急事態措置延長の政府方針発令**

【調査対象】県内企業 581 社回答

【調査内容】①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価⑤採算 ⑥引き合い ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要(第 51 回調査までの「IT 関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIとは—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

雇用に関しては、「過剰・適正・不足」でお答えいただき、「不足」はマイナス表示を使用(第 74 回より)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

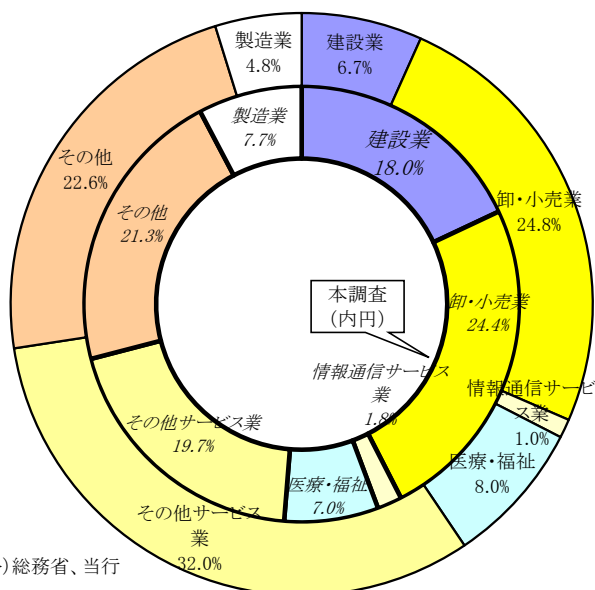
②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)、と捉えます。

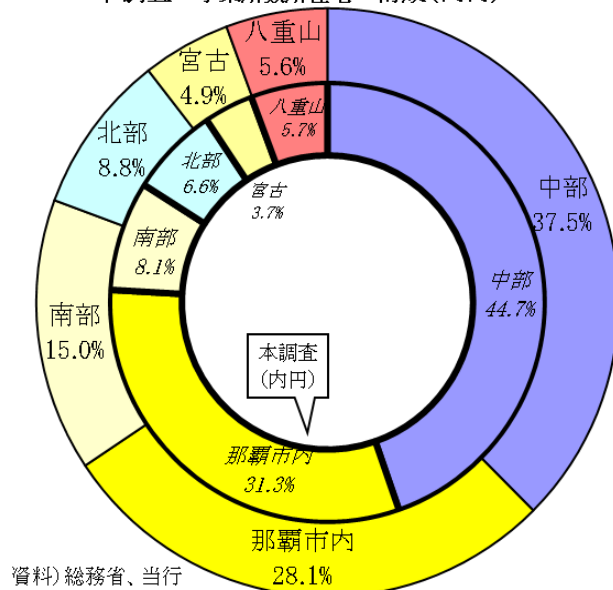
➤ 調査対象企業の業種・所在地構成

本調査の業種構成を県内事業所データ(2016 年経済センサス活動調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【情報通信サービス業】、【製造業】はサンプリング数が多く、【医療・福祉】、【その他サービス業(宿泊、飲食等)】、【その他(不動産、運輸等)】はサンプリング数が少なくなっています。また、所在地構成では、中部と那覇市内の合計が全体の7割以上を占めています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



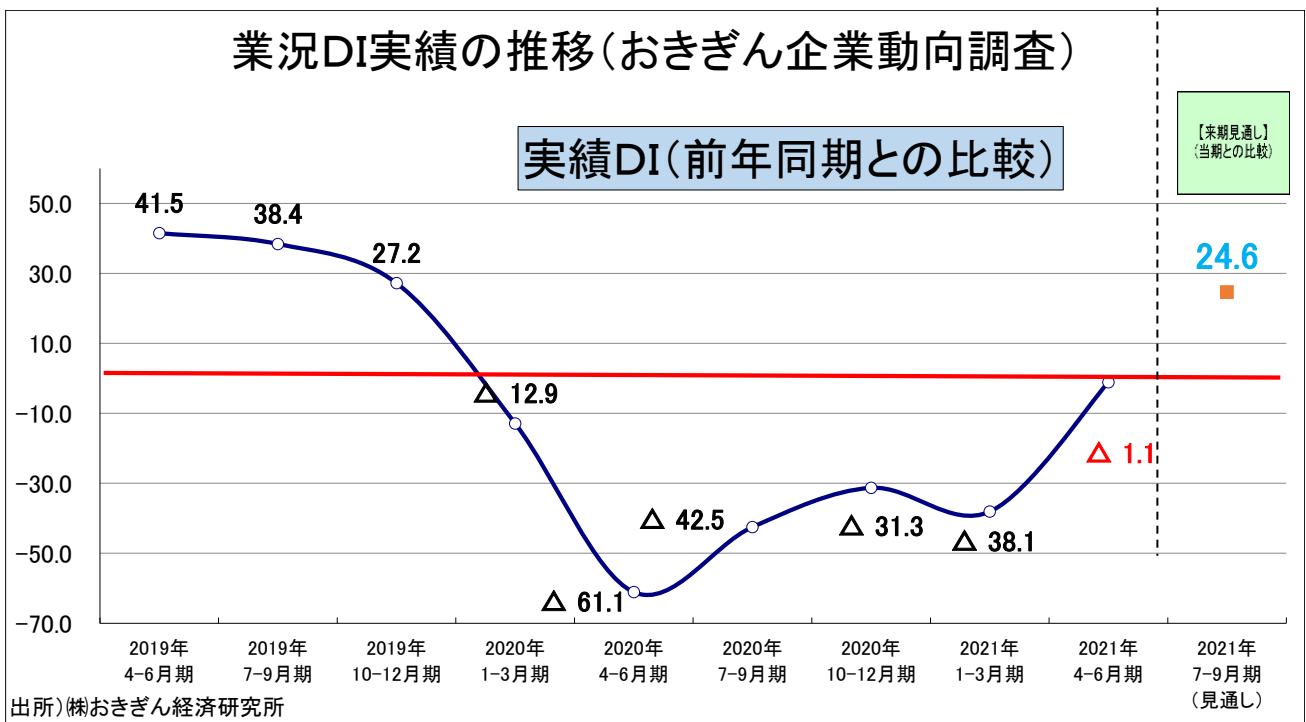
県内の事業所数所在地の構成(外円)、
本調査の事業所数所在地の構成(内円)



➤ 調査の結果

当期の業況DIは△1.1（前年同期比）となり、全体として業況の弱さがみられます。前期に引き続き6期連続マイナスとなりました。一方、来期の業況見通しDIは24.6（当期比）となり、前回の見通し（前回調査時の次期見通し：+13.1）に引き続き全体として業況改善の動きが見込まれます。

【業況DIの推移】	2020年			2021年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期見通し
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種	△ 61.1	△ 42.5	△ 31.3	△ 38.1	△ 1.1	24.6
製造業	△ 70.8	△ 61.0	△ 30.2	△ 48.3	△ 9.5	38.1
土木業	△ 6.3	△ 22.2	△ 20.0	0.0	29.4	23.5
建築業	△ 25.5	△ 9.4	△ 3.0	△ 11.5	12.3	25.9
卸売業	△ 70.4	△ 48.1	△ 48.8	△ 39.5	4.2	23.6
小売業	△ 78.8	△ 44.1	△ 33.8	△ 45.3	△ 1.6	14.8
情報通信サービス業	△ 77.8	△ 18.2	△ 9.1	11.1	60.0	60.0
医療・福祉	△ 65.8	△ 34.3	△ 26.9	△ 23.5	7.9	39.5
その他サービス業(宿泊・飲食等)	△ 80.4	△ 75.3	△ 47.1	△ 68.9	△ 19.6	24.3
その他(不動産、運輸等)	△ 58.0	△ 42.1	△ 36.9	△ 39.6	△ 6.0	17.2

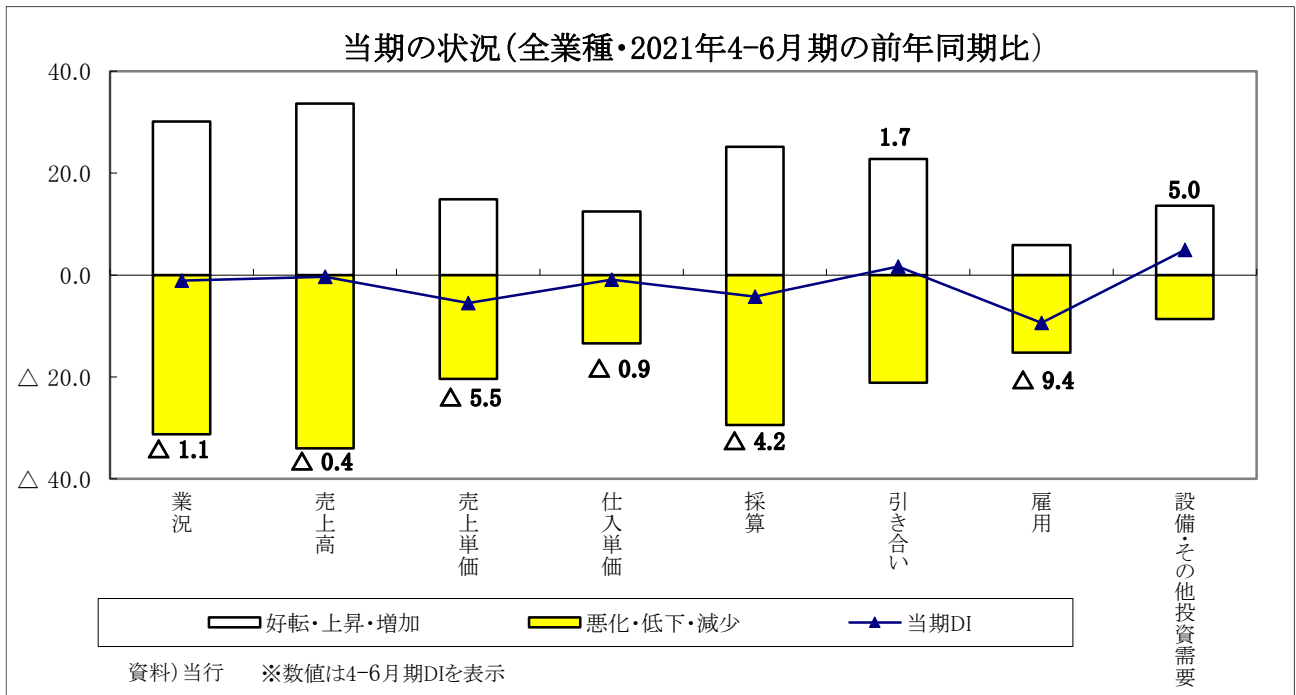


※「2021年7-9月期(見通し)」24.6については、今期(2021年4-6月期)との比較であり、前年同期との比較ではない。このため折れ線グラフは連続していません。

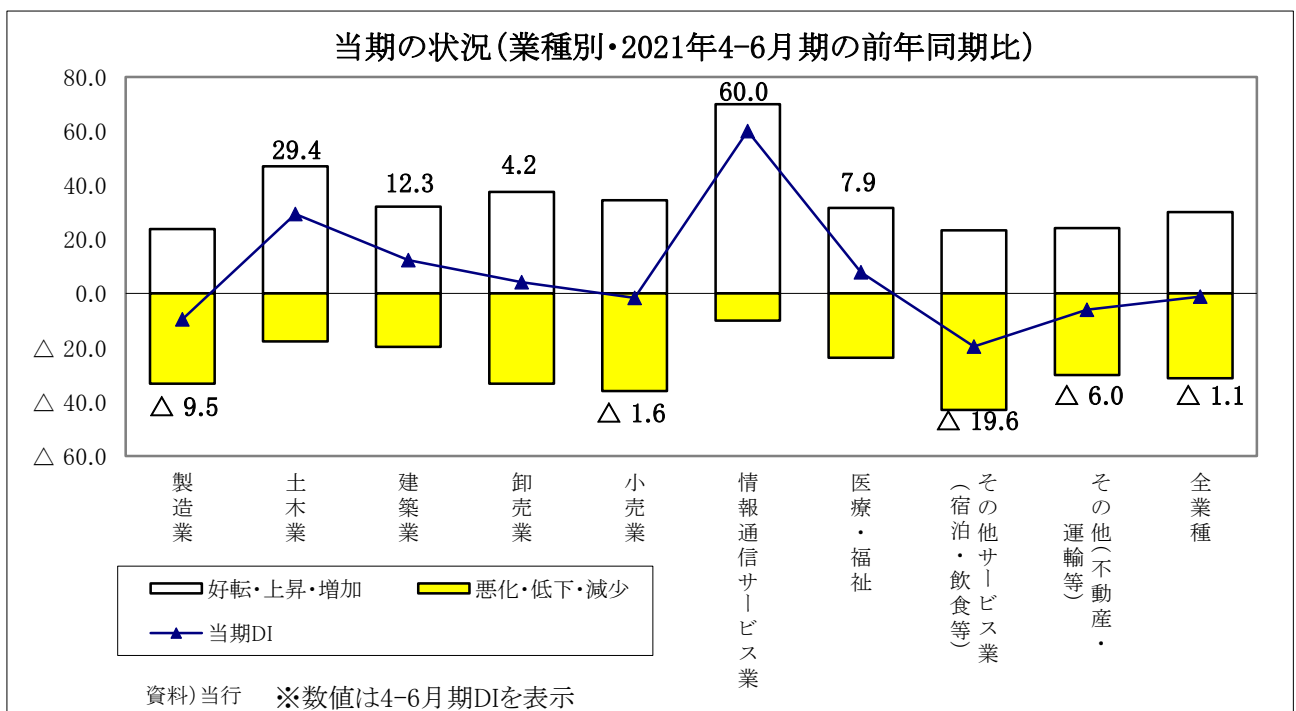
II.調査結果(総論)

1.当期の状況(2021年4-6月の前年同期比)

- ▶ 当期の業況は $\Delta 1.1$ となり、**全体的に業況の弱さ**がみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、引き続き観光関連の需要低迷から売上高($\Delta 0.4$)や採算($\Delta 4.2$)、雇用($\Delta 9.4$)などの項目で減少がみられ、**業況の弱さ**がみられます。

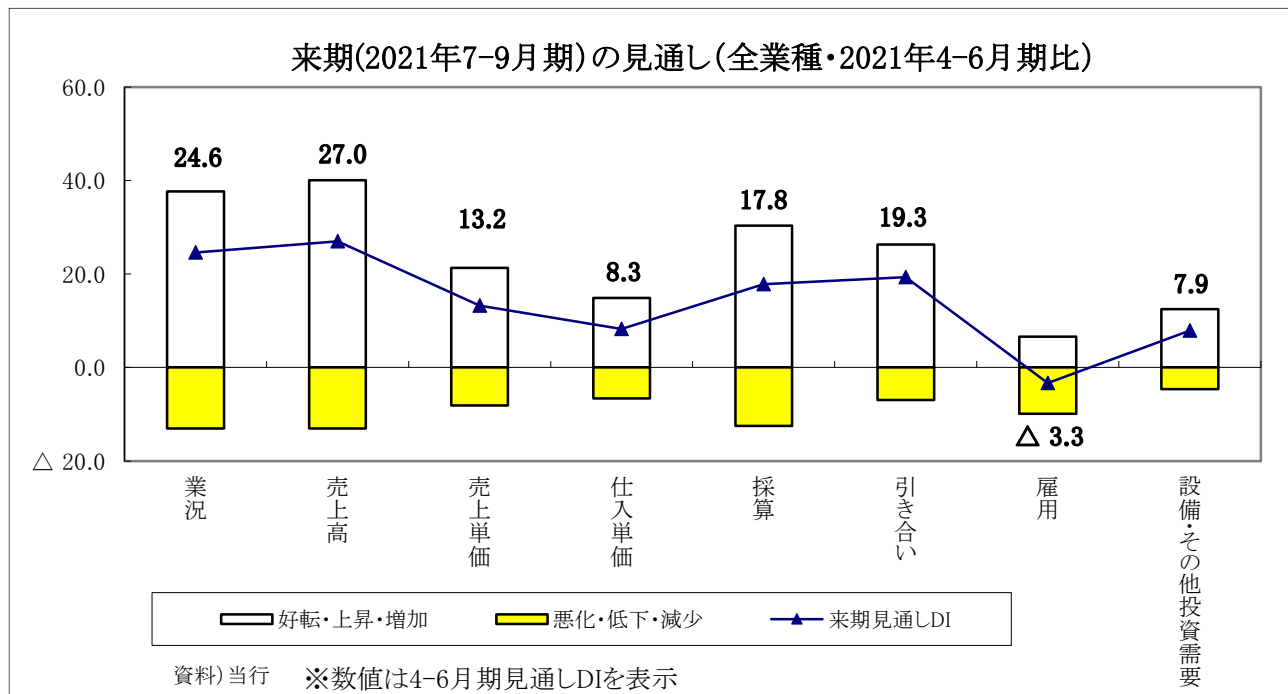


- ▶ 業種別では、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により【**其他サービス業**($\Delta 19.6$)】や【**製造業**($\Delta 9.5$)】、【**其他**($\Delta 6.0$)】などで全業種DIを下回り**業況の弱さ**がみられものの、【**情報通信サービス業**(60.0)]を筆頭に、【**土木業**(29.4)】、【**建築業**(12.3)】では**業況改善の動き**がみられます。

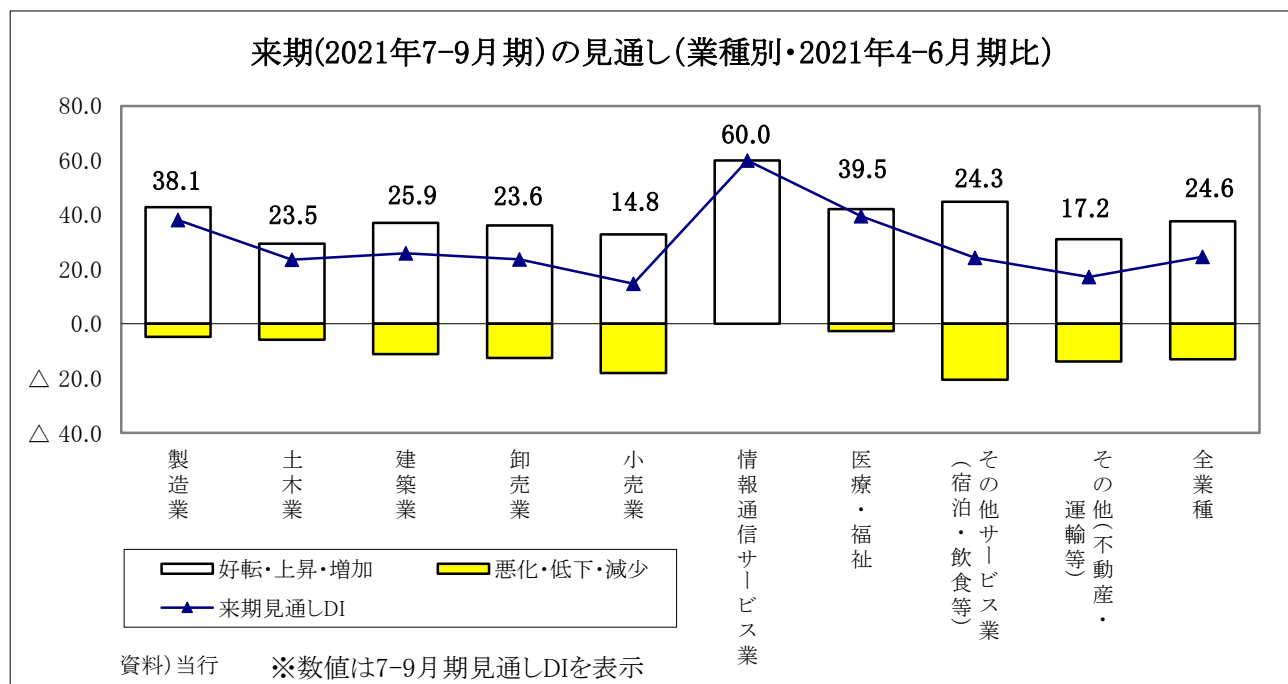


2.来期の見通し(2021年7-9月期の当期比)

- ▶ 来期の見通し業況DIは24.6となり、**業況改善の動き**が見込まれています。依然、新型コロナウイルス感染拡大の懸念はあるものの、新型コロナウイルスの影響の収束及び、観光ハイシーズン到来に向けた業況の好転見込み、期待感などから売上高(27.0)、採算(17.8)、引き合い(19.3)など、全般に**業況改善の動き**が見込まれています。

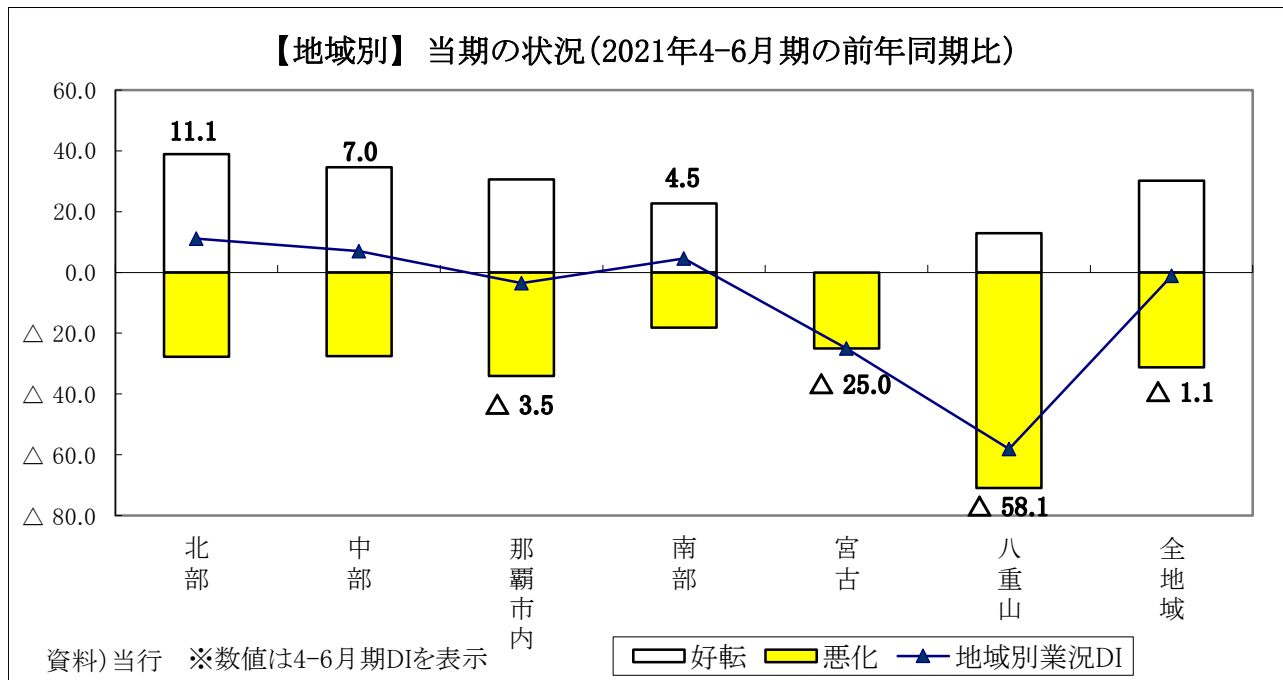


- ▶ 業種別では、全体として**業況改善の動き**が見込まれています。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、コロナ禍における配信事業の売上増加見込みから【情報通信サービス業(60.0)】をはじめ、コロナ自粛緩和による売上増加見込みから【医療・福祉(39.5)】など、業種全般においてコロナワクチン普及による人出(観光客足)の増加など予想から**業況改善の動き**が見込まれます。

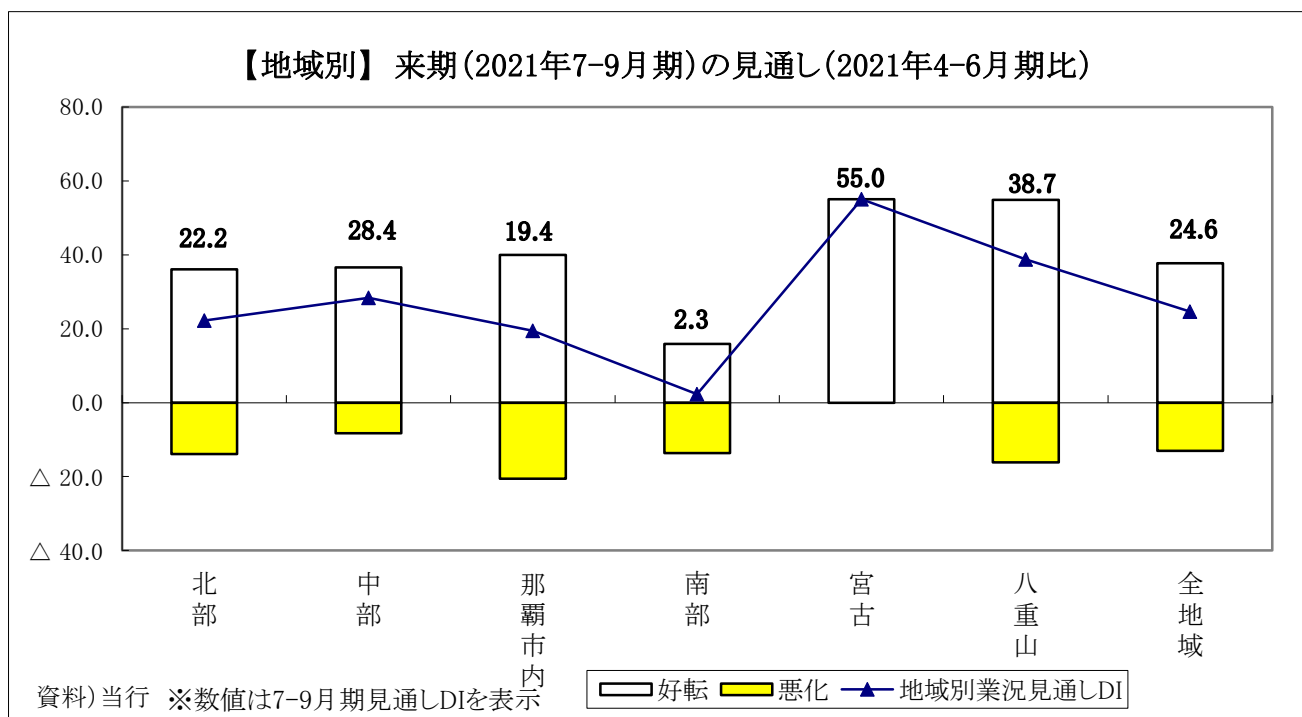


3.地域別の業況 DI

- 当期の地域別 DI(前年同期比)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、特に離島エリアでの観光関連(宿泊業・飲食業等)において需要の減少から、八重山地区(△58.1)、宮古地区(△25.0)などの地域で業況に弱さがみられます。



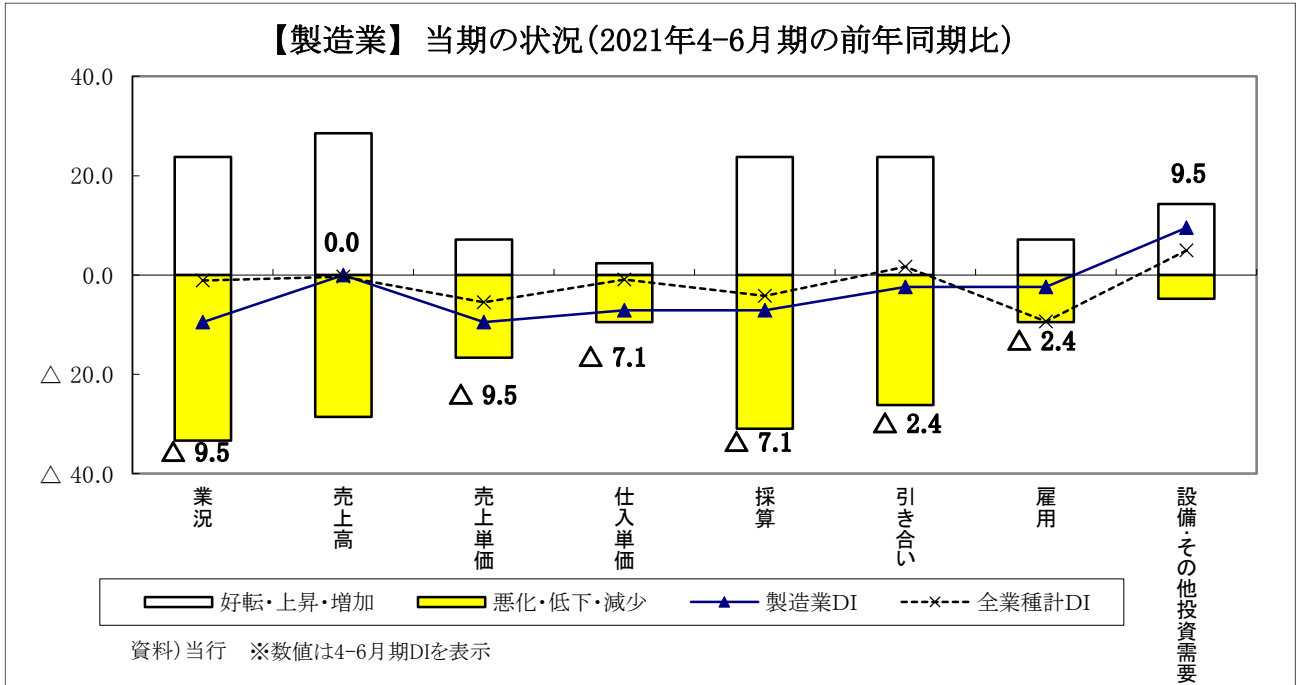
- 来期の地域別 DI 見通し(当期比)は、全ての地域で業況改善の動きが見込まれています。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念されるものの、宮古地区(55.0)、八重山地区(38.7)を筆頭に、ワクチン浸透による観光客の回復見込みから業況改善の動きが見込まれます。



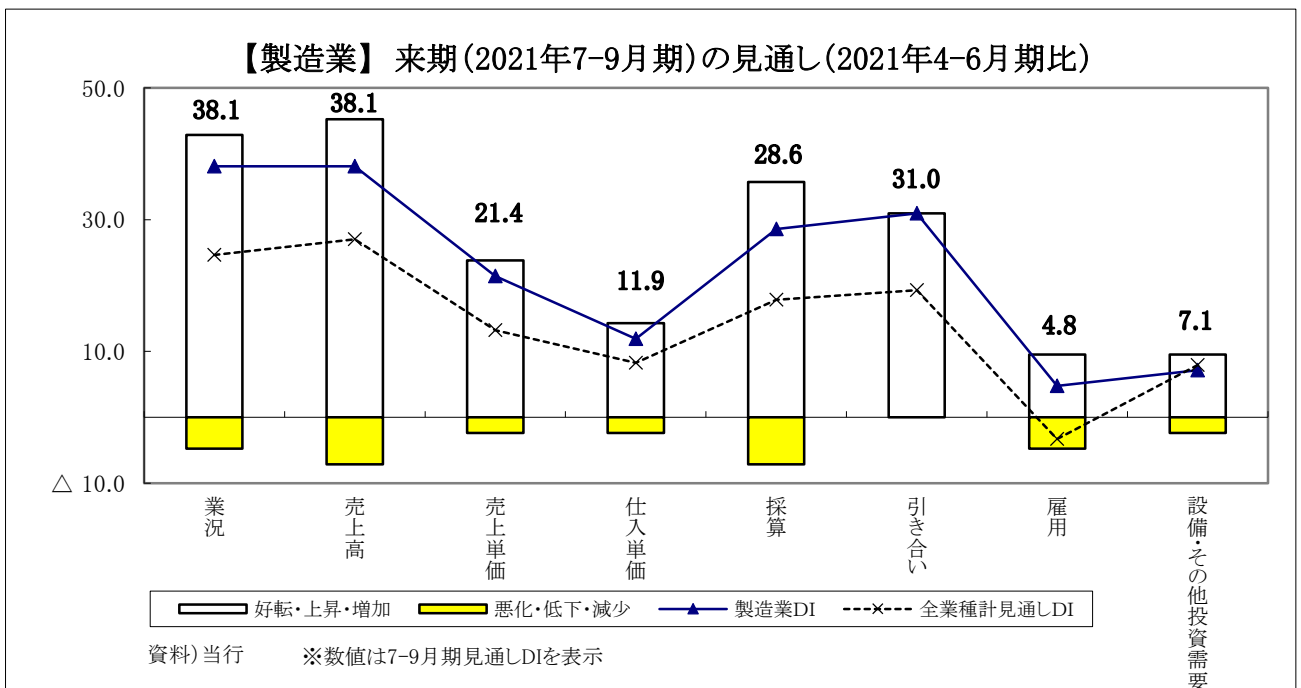
Ⅲ.調査結果(各論)

1. 製造業

- 当期DI(前年同期比)は $\Delta 9.5$ となり、全体として業況の弱さがみられます。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により食品製造業などでは、飲食店、観光関連産業における需要減から、採算、引き合いなどが減少しています。

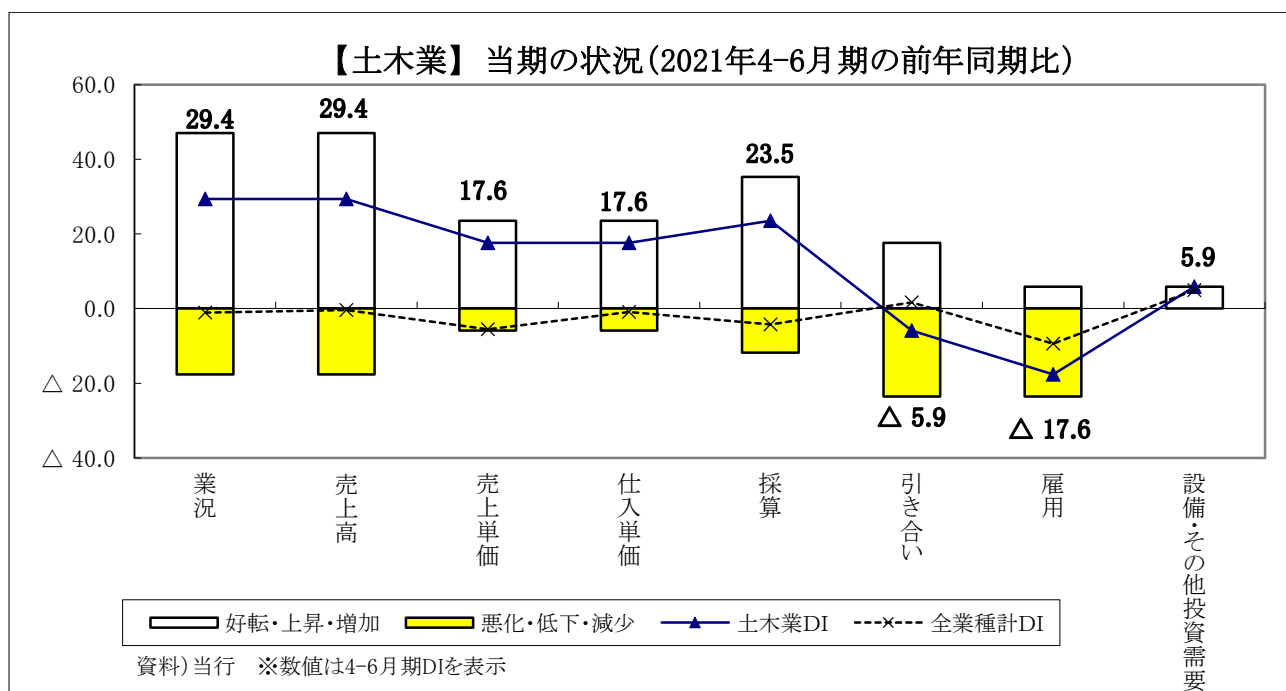


- 来期の見通しDI(当期比)は38.1となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるもののその終息見込みなどから観光関連産業を中心に消費復活・拡大への期待感などから、売上高、採算、引き合いなどで増加が見込まれます。

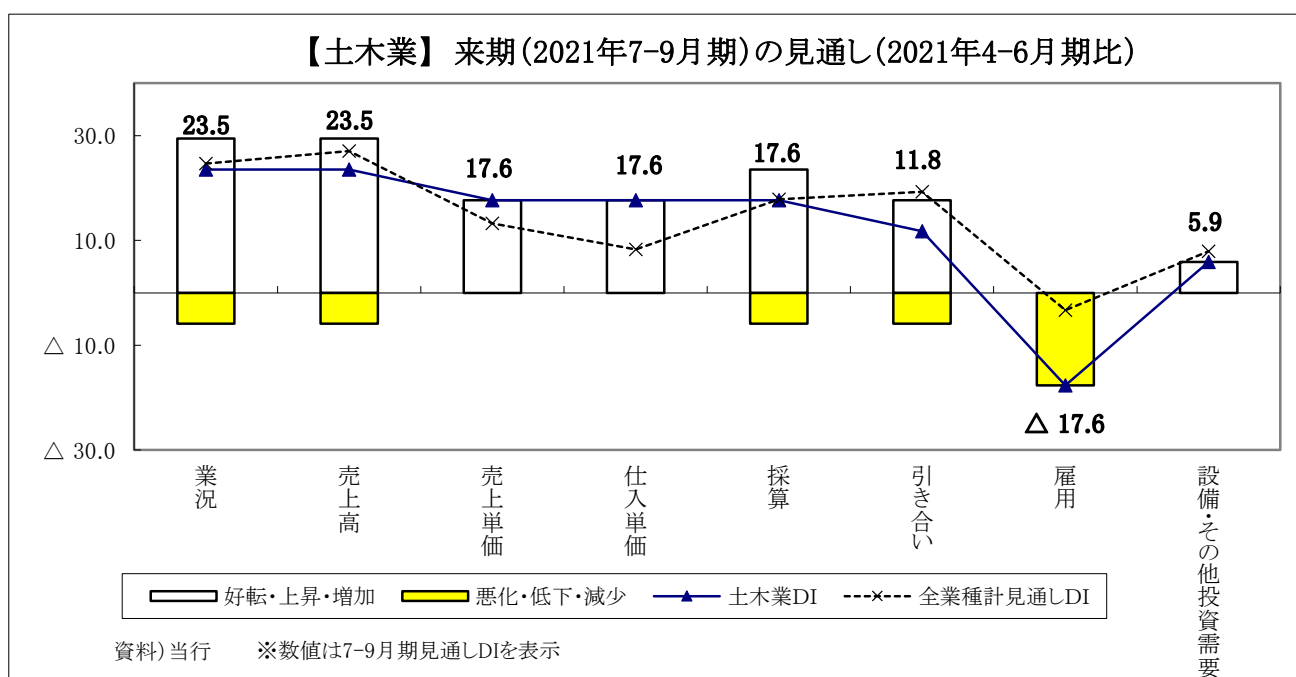


2. 土木業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は29.4となり、全体として業況改善の動きがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、公共工事の安定受注などから売上高、採算などが増加しています。一方で、人手不足による雇用の確保を懸念する事業者が一定数みられます。

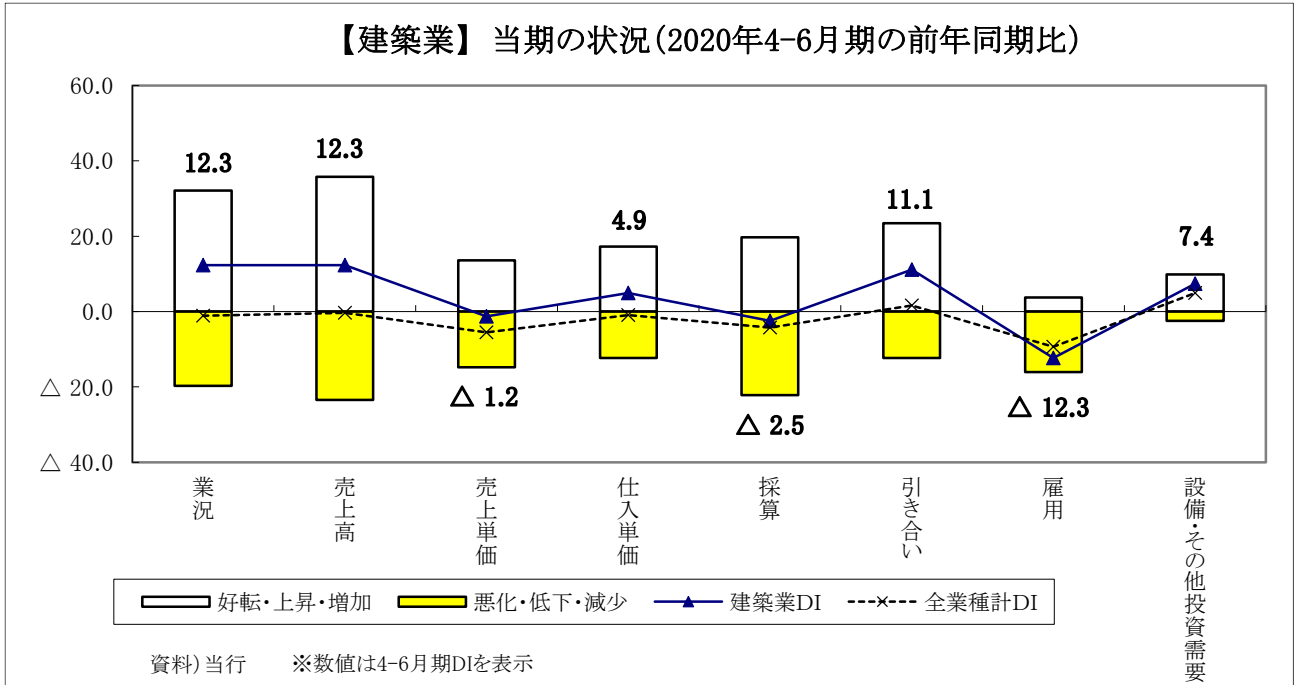


- ▶ 来期の見通しDI(当期比)は23.5となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き来期以降の安定した公共工事の受注を見込む向きから売上高、採算、引き合いなどで増加が見込まれる一方、若手を中心に人員不足を懸念する事業者が一定数みられます。

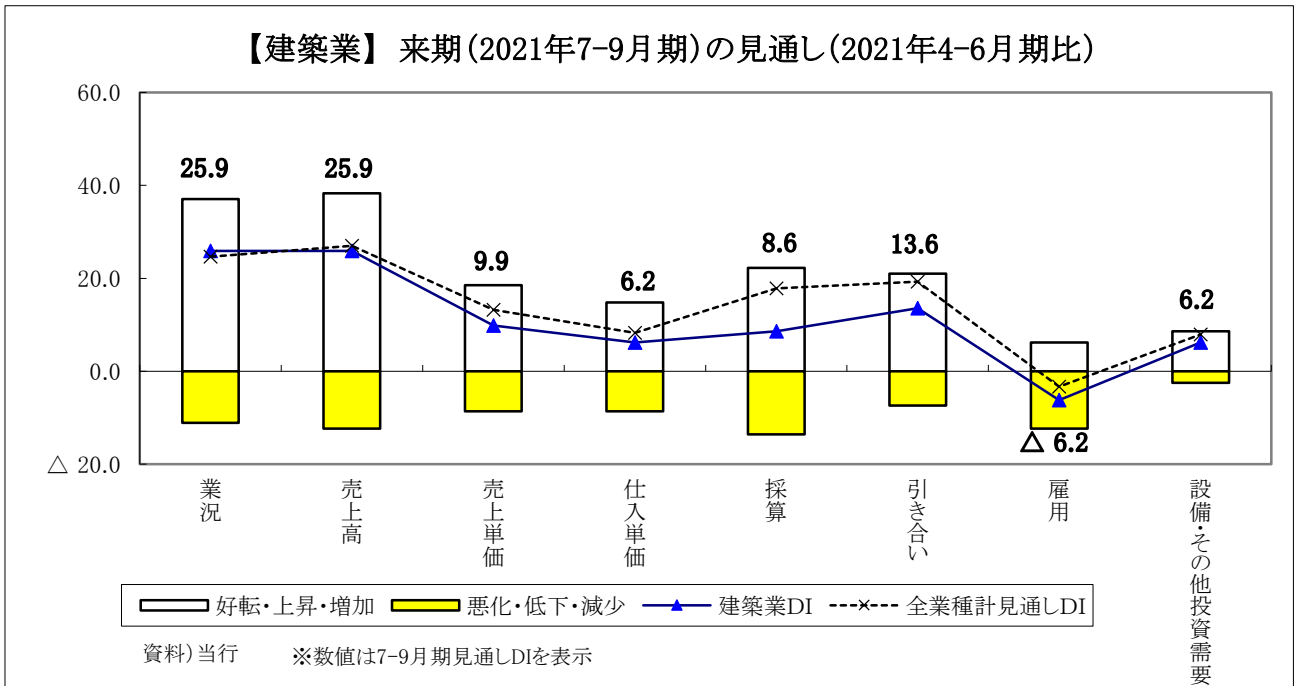


3. 建築業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は12.3となり、全体としては業況改善の動きがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、公共工事や販売用マンションなどの民間工事の安定した受注などから、売上高、引き合いが増加しています。一方、資材高騰(コロナ後の需要増大に伴う)を懸念する事業者が一部でみられます。

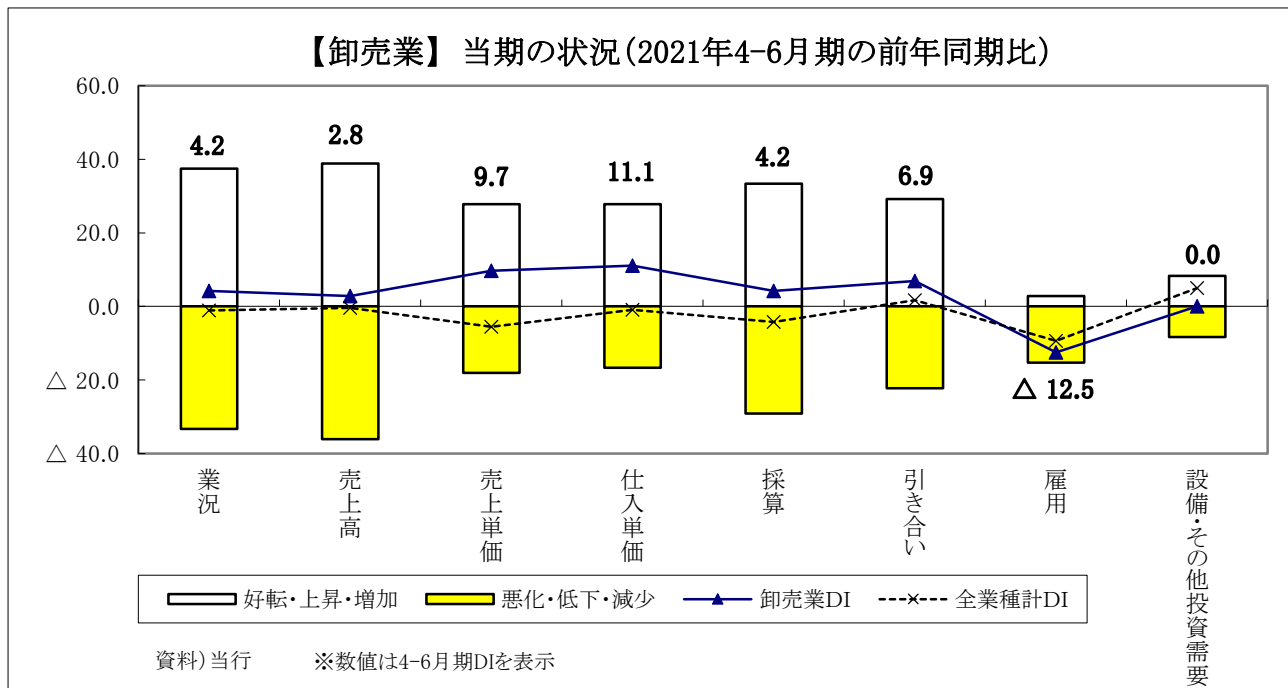


- ▶ 来期の見通し DI(当期比)は 25.9 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き公共工事の受注の好調などから売上高、採算、引き合いなどの増加が見込まれます。一方、人手不足による雇用の確保を懸念する事業者もみられます。

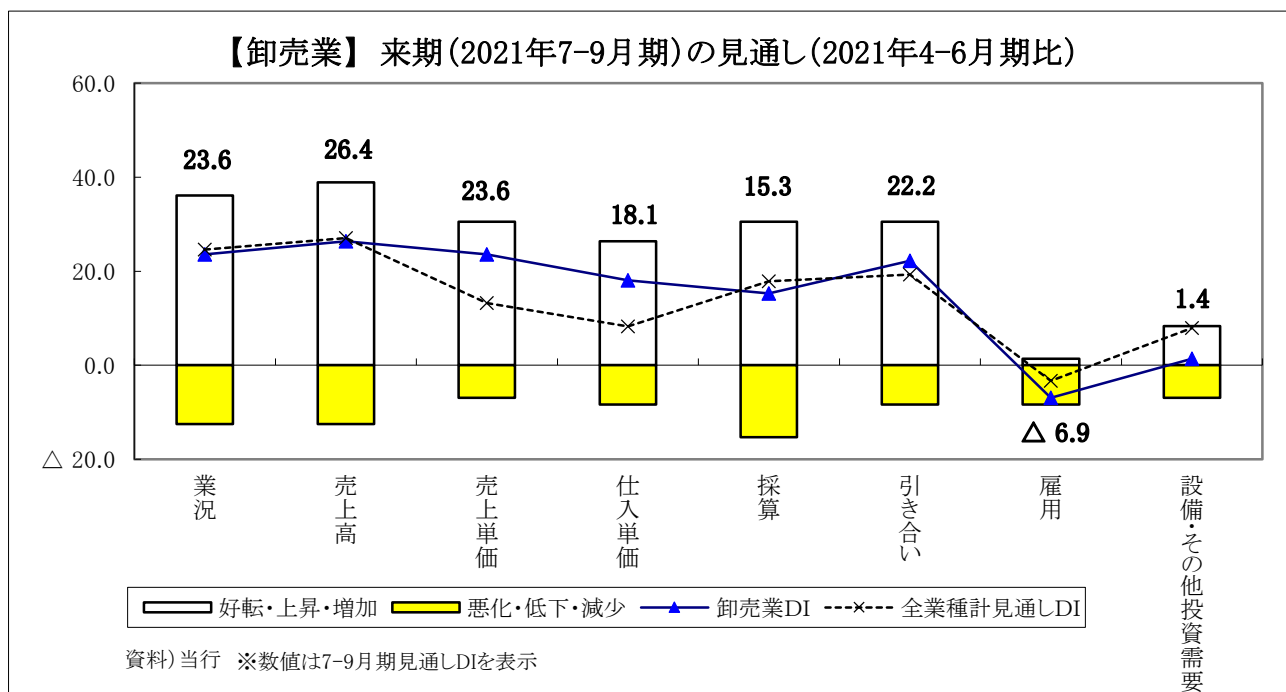


4. 卸売業

- 当期の業況DI(前年同期比)は4.2となり、全体としては業況改善の動きがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、前年の休業体制のホテル、施設の反動増などから食品卸売業や観光関連卸売業などでは、売上高、採算、引き合いなどで増加がみられます。

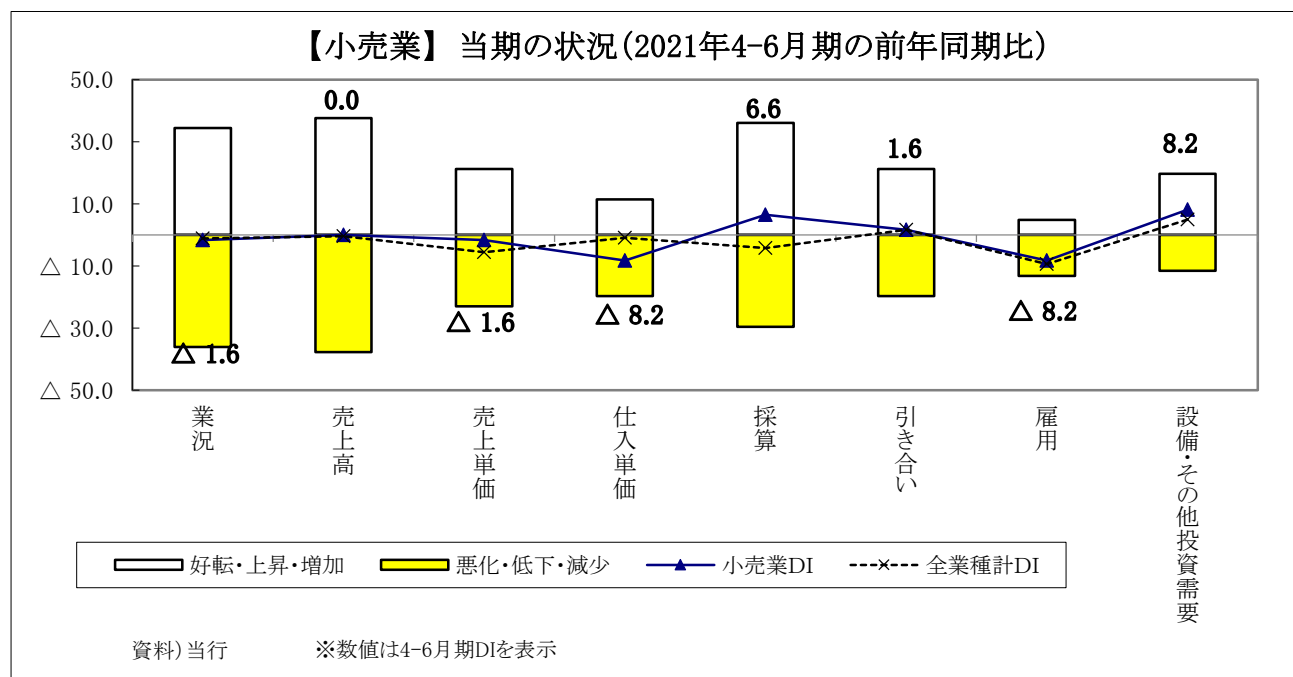


- 来期の見通し業況DI(当期比)は23.6となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、コロナワクチン接種に伴い夏場の観光客足の増加期待などから食品卸売業などを中心に売上高、採算、引き合いの増加が見込まれます。

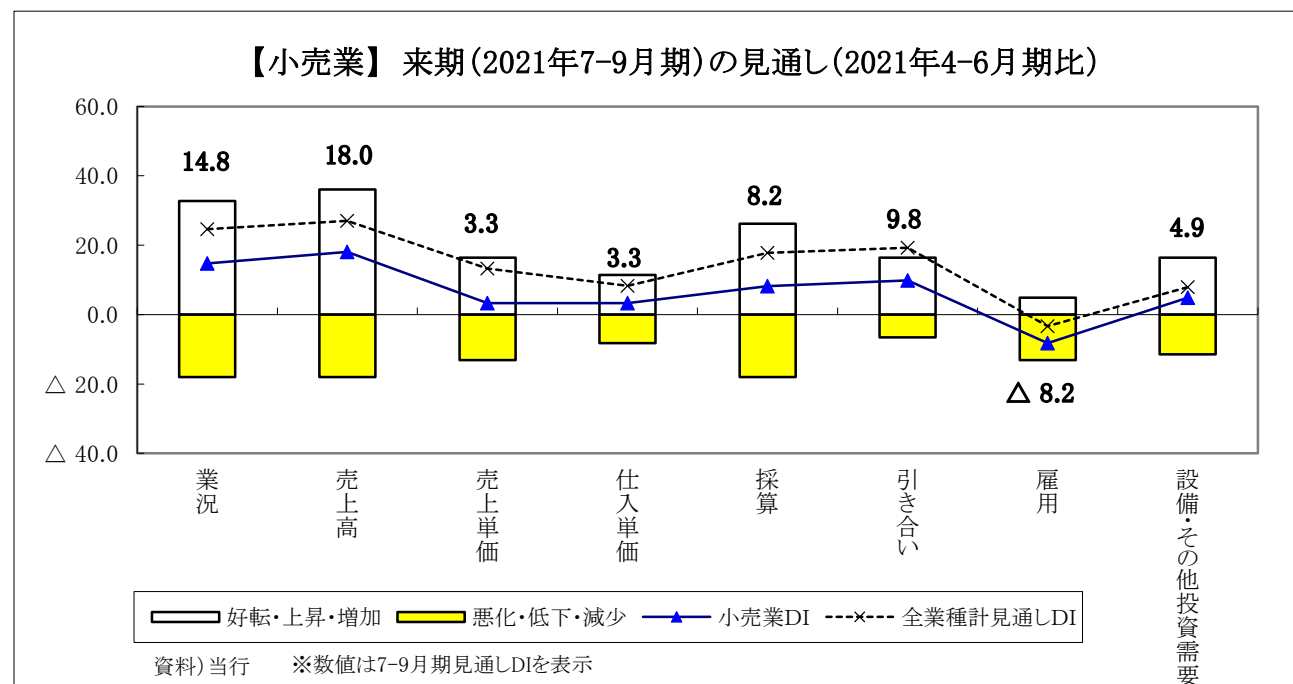


5. 小売業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 1.6$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光土産品小売業や巣籠もり需要の一服感などからホームセンターなどで売上高の横ばい傾向がみられます。

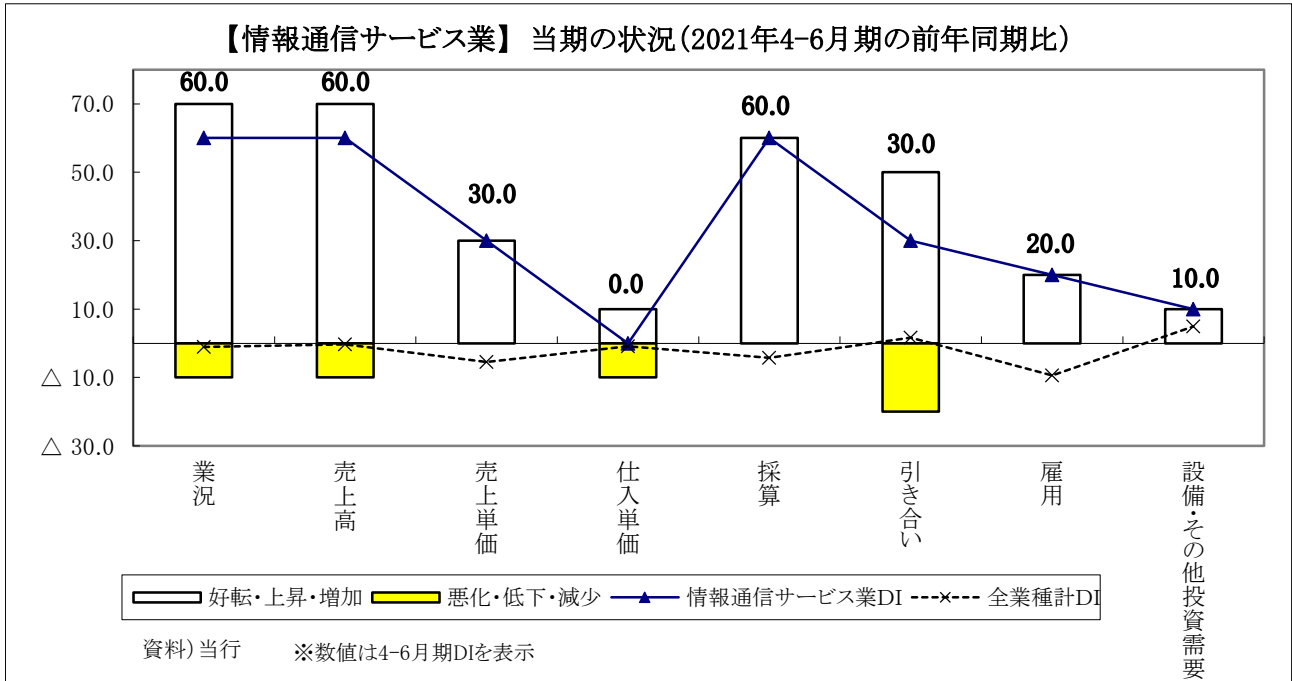


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は 14.8 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。ワクチン普及に伴うコロナ終息により、飲食店やホテルなどへの人出の回復期待から売上高、採算、引き合いなどで増加が見込まれます。

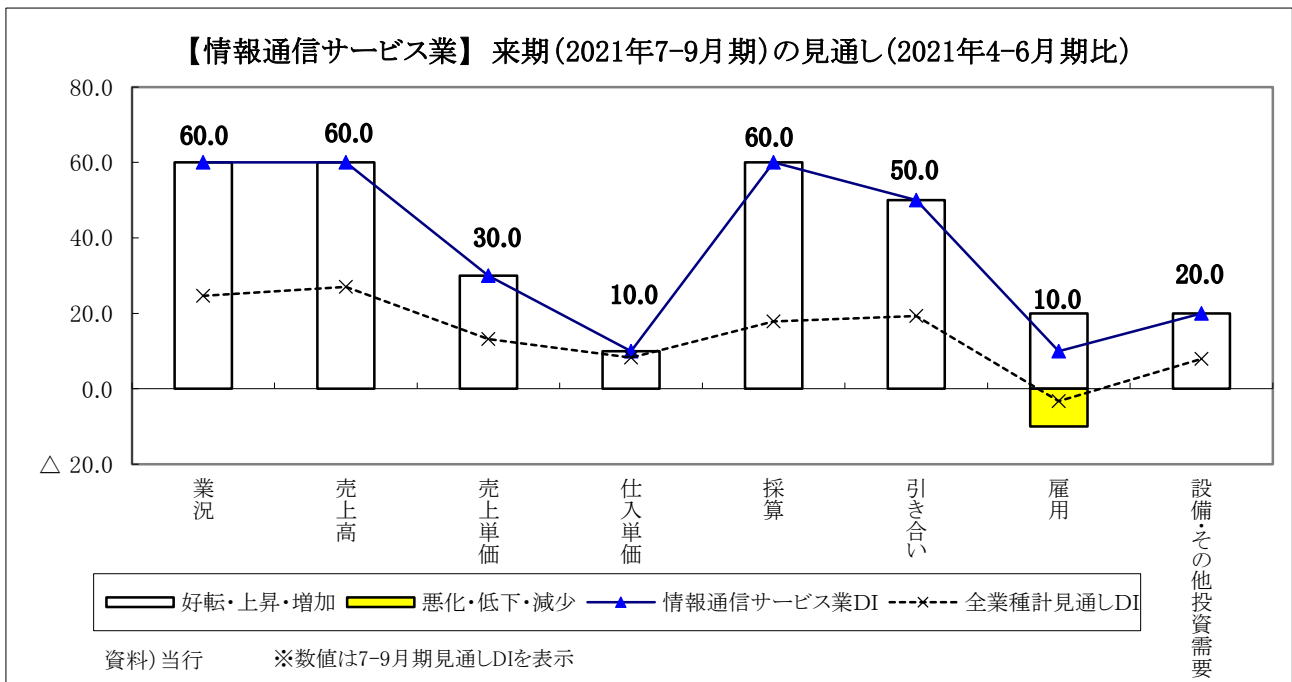


6. 情報通信サービス業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は 60.0 となり、全体として業況改善の動きがみられます。インターネット回線等のプロバイダー事業において在宅勤務の普及に伴う回線見直し等の需要増や、広告宣伝業におけるネット販売、WEBプロモーション等の業務需要の増加に伴い、売上高、採算、引き合いなどが多くの項目で増加しています。

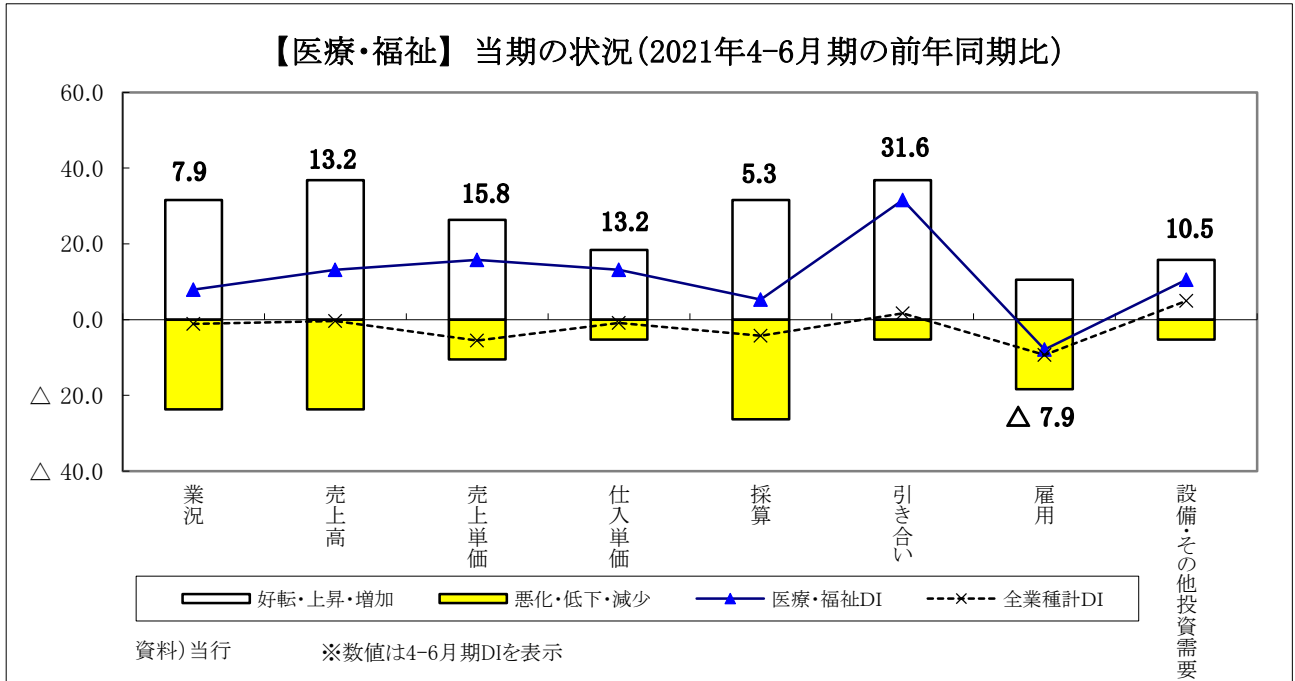


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は 60.0 となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、コロナ禍のなか、配信事業の需要の増加やネット回線の見直し需要の増加見込みから売上高、採算、引き合いなど、全ての項目で増加が見込まれます。

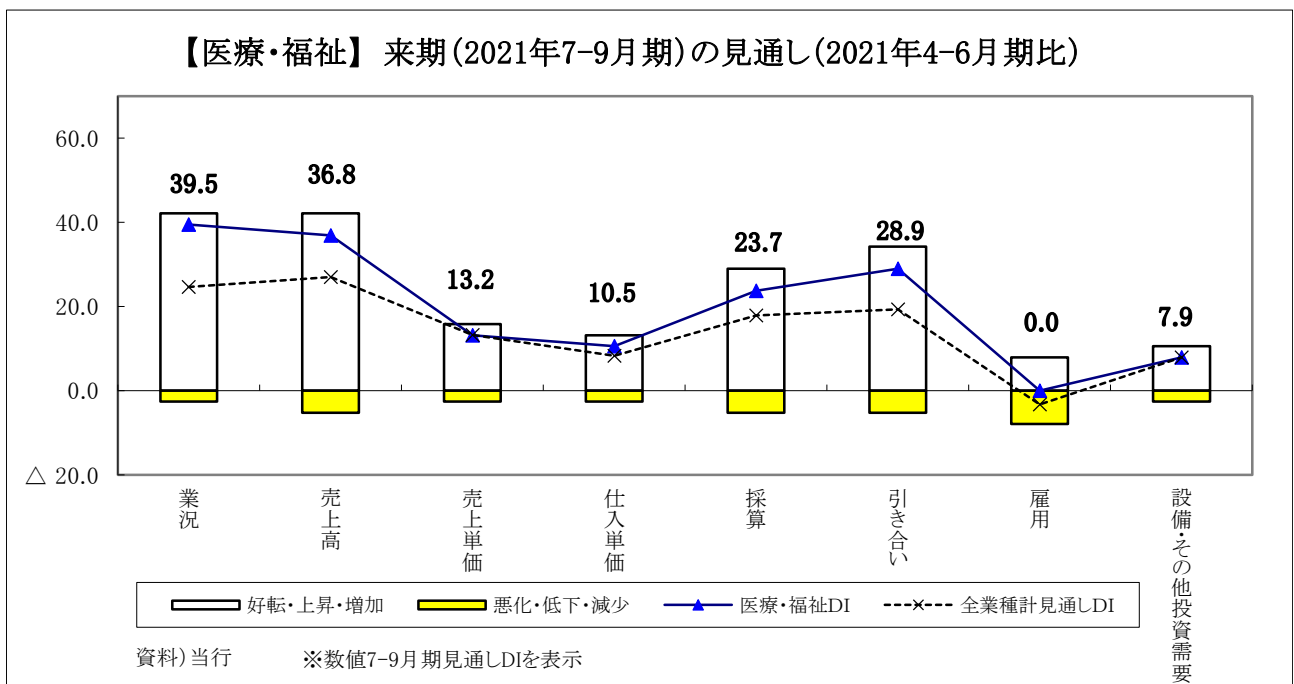


7. 医療・福祉

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は 7.9 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。来院自粛の緩和から歯科クリニックや介護事業、デイサービスの需要増に伴う利用者の増加などから売上高、採算、引き合いなど多くの項目で増加がみられます。一方、依然として介護従事者の人手不足など雇用の確保を懸念する事業者もみられます。

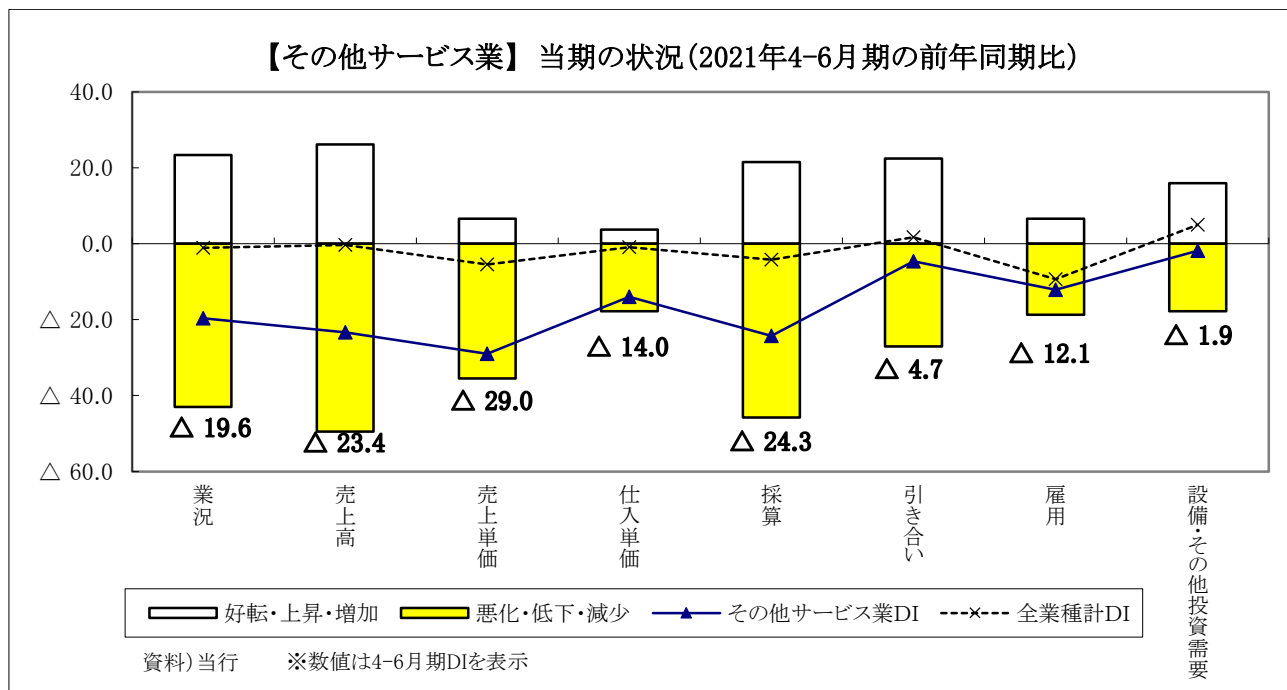


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は 39.5 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。ワクチン接種の普及に伴い病院、介護事業などへの利用者の増加見込みから売上高、採算、引き合いなど多くの項目での増加が見込まれます。

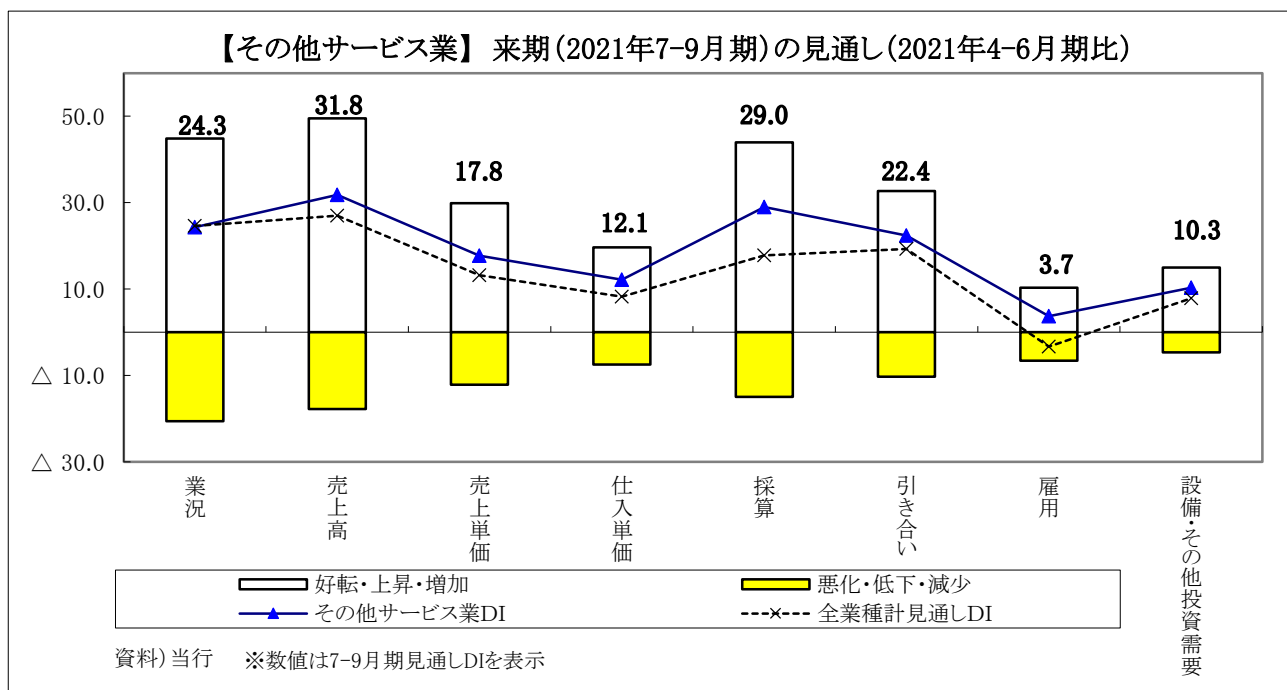


8. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連など)

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 19.6$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急事態宣言の発令に伴い観光客や地元客の減少から宿泊業、観光施設、旅行業、飲食業などにおいて売上高、採算、引き合いが減少しています。

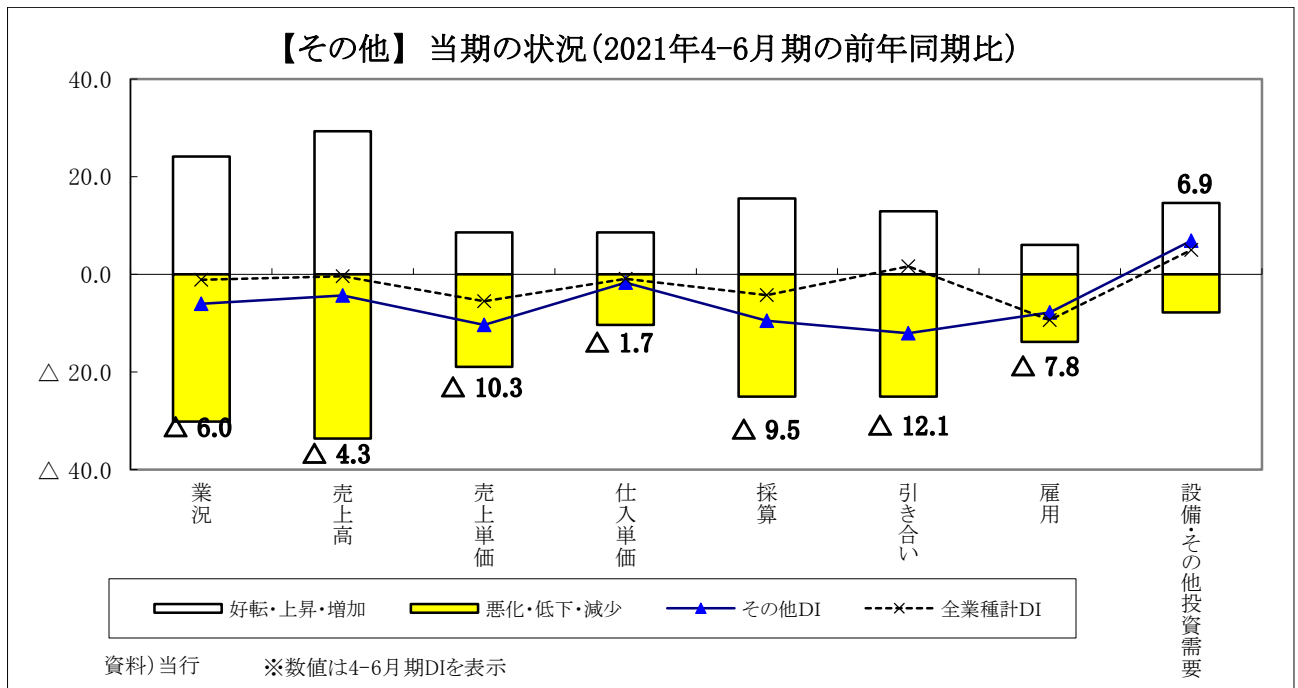


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は24.3となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。宿泊業、観光施設、旅行業、飲食業などにおいて、ワクチン接種の普及見込みから、観光トップシーズを見据えた観光客の増加期待から売上高、採算、引き合いなど、全ての項目において増加が見込まれています。

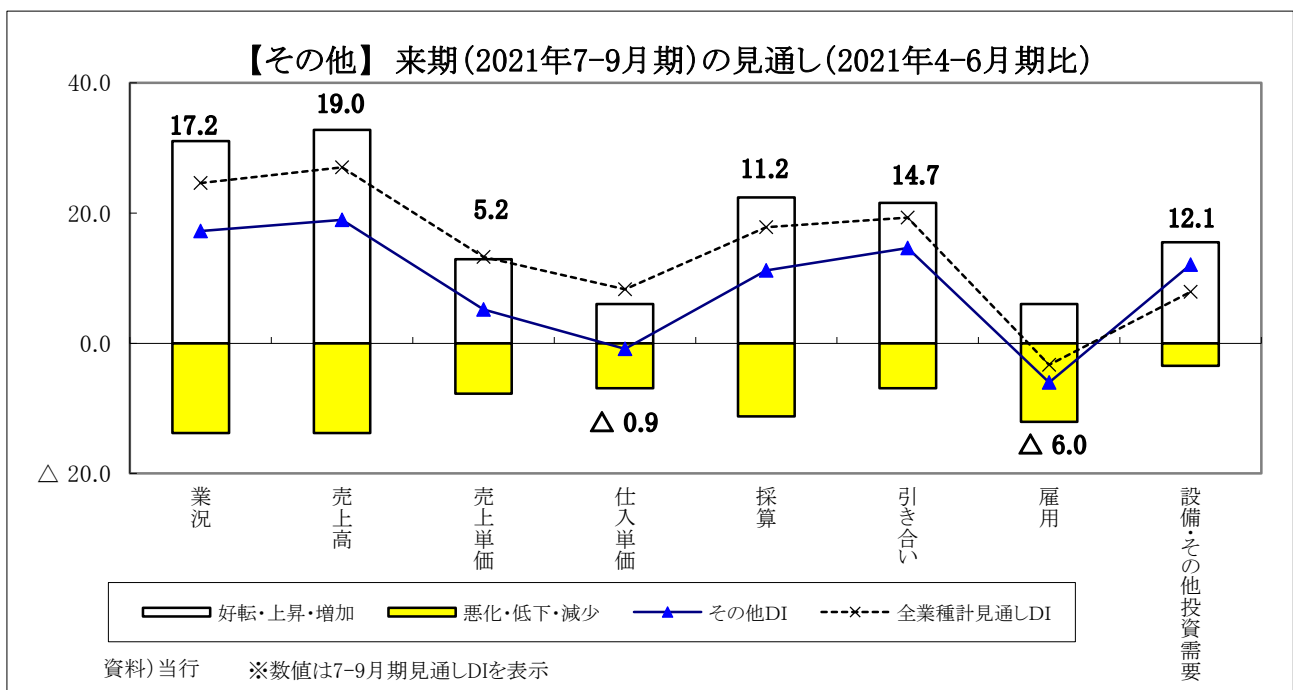


9. その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 6.0$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。運輸業(タクシー、観光バス)、レンタカー業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少や修学旅行中止に伴う観光バス利用のキャンセルが相次ぎ、売上高、採算、引き合いなどが減少しています。



- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は17.2となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。運輸業(タクシー、観光バス)、レンタカー業などでは、引き続き新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響はあるものの、ワクチン接種の普及に伴い観光客の増加見込みから売上高、採算、引き合いなどで増加が見込まれています。



V.まとめ(総括)

▶ 【当期の業況DI】

当期(2021年4-6月期)の業況DIは $\Delta 1.1$ (前年同期比)となり、前期($\Delta 38.1$)比較ではマイナス幅が大幅に改善するものの、全体としては業況の弱さがみられます。

観光関連(宿泊、飲食業、観光施設、旅行業等)では、前期に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要の減少及び緊急事態宣言に伴う行動自粛などにより売上高・採算・引き合いが減少しています。また引き続き団体客や修学旅行のキャンセルによる影響を受けている事業者が多数みられます。

小売業(観光土産品小売、ホームセンターなど)では、観光客の需要減少や巣籠もり消費の一服感などから売上高は横ばい傾向となっています。

卸売業(食品卸売、観光土産品卸売など)においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの前年の休業体制のホテル、施設の反動増などから売上高、採算、引き合いなどで増加がみられます。

建設関連(土木、建築など)では新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、公共工事や販売用マンションなどの民間工事の安定した受注などから売上高、採算、引き合いが増加しています。以上のことを踏まえ観光関連産業のマイナスの影響から、総じて業況の弱さがみられます。

▶ 【来期の見通し業況DI】 (本調査は緊急事態宣言下の6/7~7/2に実施されたものである)

来期(2021年7-9月期)の見通し業況DIは 24.6 (当期比)となり、全体として業況改善の動きが見込まれます。

観光関連では、引き続き新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響への懸念はあるものの、コロナワクチン接種普及から観光トップシーズンを見据えた観光客の増加見込みから売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。

卸・小売業(食品・雑貨など)においても、ワクチン普及に伴うコロナ終息により、飲食店やホテルなどへの人出の回復期待から売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。

情報通信サービス業(ネットワーク構築など)においては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、コロナ禍のなか、配信事業の需要の増加やネット回線の見直し需要の増加見込みから売上高、採算、引き合いなど、全ての項目で増加が見込まれます。

医療・福祉サービス業においても、ワクチン接種の普及に伴い病院、介護事業などへの利用者の増加見込みから売上高、採算、引き合いなど多くの項目での増加が見込まれます。

一方、足許では再び新型コロナウイルス感染拡大の懸念から本県では緊急事態宣言の延長(5/23~6/20→7/11→8/22)が決定、感染者は再び首都圏をはじめ、県内でも増加傾向にあります。今後も先の見えない景気の不透明感が懸念され、引き続き景気の先行きに対し慎重な見方が必要です。